

令和元年度「地域住民を対象とした授業公開」実施報告書

学校名

長野県蓼科高等学校

課程 (全) 定午前午後夜ⅡⅢ・通

本年度実施した「地域住民を対象とした授業公開」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	令和2年 2月 25日 (火)						
実施年月日(曜)	令和 2年 2月5日 (水)						
公開時間	13時30分～ 15時20分						
公開時限	5・6時限						
公開学年 公開教科	2学年 学校設定科目「蓼科学」						
公開対象者	どなたでも						
参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	校内生徒	
	3人	人	人	1人	人	30人	
参加者への応 対等について 特に配慮した 取組	地域の有線放送やケーブルテレビにて講座の案内と参加の呼びかけを行った。						
参観者からの 感想・意見の例	笑顔で終始変わらずご講義された亀山先生の姿に感服いたしました。楽しく興味あるお話すばらしかったです。保科百助（五無斎）初代校長先生のお話から、中山道（木曾街道）笠取峠にと、生徒の興味関心のある身近な自然と歴史を上手に話してくださいました。レジメも織物標本や、峠の赤松や年輪、木曾街道の宿などは、電子黒板でカラーで見ることができてわかり易かったです。アカマツは超有用樹であることが分かりました。二時間本当に楽しかったです。						
成果と課題	第25回の蓼科学は、「歴史と自然の地域学」をテーマに東京農工大 名誉教授 亀山 章先生にご講義いただいた。自然の上に歴史が成り立ち、歴史は自然のもとに成り立っている。自分が生活している地域の歴史を学ぶ大切さを教えていただいた。江戸時代に幕府の命令によって作られた笠取峠のマツ並木や、古い時代の物が今も残っている意味や、これからも保護し、残していく大切さをお話しいただいた。赤マツが街道の林として植えられた樹冠による降雨遮断の効果や、マツクイムシの被害のお話しをお聞きし、笠取峠のマツ並木の保護の重要性に興味を感じている生徒たちも見られた。						